

連隊長要望事項
「相互信頼」



「令和7年度第3次連隊野営を実施」



連隊長 最先任上級曹長 庶務幹部 連隊長Dr

6月6日(金)から12日(木)までの第3次連隊野営を実施した。本演習は、各中隊訓練検閲の對抗部隊として令和7年度アグレッサ部隊に第3中隊を指定された、増強第4中隊基幹が参加するFTC訓練(第6次運営 防御)に向けた練成訓練の場を活用した第3中隊訓練検閲であり、バトラ(交戦用訓練装置)を用いた対抗形式で実施された。

5月下旬に実施された第2次連隊野営から得た教訓事項等を踏まえ、各中隊は指揮幕僚活動(情報・通信・火力の連携、統制・調整)、部隊の基本的行動(敵を意識した戦闘行動、指揮の継承)及び新領域(ドローン・電磁波・衛星)への対応を含む基本基礎動作の錬度を向上させた。

また、17日(火)に行われたAARでは、本訓練の作戦行動を詳細に分析し、次回へ向け意見交換が実施された。

連隊は本訓練を通じ、FTCに必勝を期すための戦闘能力及び射撃能力の向上を図るとともに、今後も「生き残り戦いに勝利」できる錬度を保持・向上させていく。



戦闘訓練 (訓練評価)



「訓練評価・総合訓練を」実施

自衛官候補生日々奮闘



新隊員教育隊(教育隊長 下山准尉)が担任する自衛官候補生課程は教育も終盤となり、自衛官候補生たちは、自衛官として必要な資質を養うとともに、各職種共通の基礎的な知識・技能を修得すべく、日々の訓練に励んでいる。

12日(木)学科試験、基本教練及び89式小銃の分解結合、13日(金)は戦闘訓練、また16日(月)から17日(火)にかけて25km夜間行進から攻撃までの総合訓練を実施した。

特に総合訓練は、高温多湿で降雨を伴う厳しい環境下であったが同期と励まし合いながら山間部を含む経路を踏破し、全員が25kmを完了した。その後、命令下達からドローンによる偵察、前衛分隊の行動、攻撃まで一連の流れを実施した。自衛官候補生たちは、これまで修得してきた歩行や射撃動作を駆使し、大粒の汗を流しながら、意気軒昂に戦闘訓練に臨み、全員が初夏の暑さに負けることなく攻撃目標を奪取し、任務を完遂した。

目標奪取後、多用途ヘリコプター(UH-1)で神町駐屯地まで空中機動した後、自衛官候補生たちはハイポートにより帰還し、連隊の隊員に盛大な出迎えを受けた。出迎えにおいて教育隊長は「辛い時こそ同期と励まし合い、今訓練を乗り越えたことは大きな自信に繋がったと思う。残りの教育期間も同期との時間を大切に、乗り切っていこう。」と激励の言葉を述べた。

また、前期教育のメンバーとは変わりますが、チームワークを大切に、仲間と協力しながら地域や国の安全に貢献できるような人間になりたいです。

<p>遠藤候補生</p> <p>出身: 山形市</p> <p>趣味: アニメ鑑賞、読書、音楽</p> <p>特技: アニメ鑑賞、読書</p> <p>目標: 自衛官として当たり前のことを当たり前にすること、また、それらを身に付けること。一生懸命だった前期教育でしたが、後期教育ではより専門的な事を学ぼうと一生懸命頑張りたいと思います。自衛官は「パワー」なので、後期教育は前期教育よりも、体力検定でよい結果が出るよう、頑張ります。</p>	<p>安食候補生</p> <p>出身: 山形市</p> <p>趣味: 自然にハマリ、ラーメン巡り</p> <p>特技: 全国高校サッカー選手権に出場</p> <p>目標: 長いと思っていた3カ月の教育も終わり、後期教育に向けて準備を進め、良いスタートが切れるようにしていきたいです。後期教育では前期教育で修得した科目を復習しながら訓練に励み、新しい班長、班付に教わりながら成長していきたいです。</p>
<p>遠藤候補生</p> <p>出身: 鶴岡市</p> <p>趣味: スキー、野球、パレー</p> <p>特技: アルペンスキーで東北3位</p> <p>目標: 前期教育を終え、今後の目標は、専門知識と技能を磨き、任務遂行能力を高めることです。また、前期教育のメンバーとは変わりますが、チームワークを大切に、仲間と協力しながら地域や国の安全に貢献できるような人間になりたいです。</p>	<p>秋葉候補生</p> <p>出身: 高松町</p> <p>趣味: ギター、音楽</p> <p>特技: ハンマー投げ、山形県ベスト4</p> <p>目標: 私の今後の目標は、仕事を通じ、今後あらゆる方に恩返しをすること、人の役に立つことです。私はこの教育期間で多くの人にお世話になりました。班長や区隊長をはじめ、教育隊要員の方々、そして一緒に教育を乗り切った同期、支えてくれた家族に一つでも恩返しができる様、近道をして楽をすることをせず、迷回りをして今後も努力していきます。</p>

「令和7年度第1回連隊持続走記録会」を実施



激走する隊員たち

GP	No.	第3中隊	池田士長
【女性の部】			
第1位	本部管理中隊	2 曹	原田希美
第2位	同	3 曹	久保田多紀
第3位	重迫撃砲中隊	士長	金子友莉
時間			(26分26秒)
【30才未満の部】			
第1位	本部管理中隊	3 曹	池田大希
第2位	第3中隊	士長	竹田大希
第3位	本部管理中隊	3 曹	山崎大希
時間			(18分17秒)
【40才未満の部】			
第1位	同	1 曹	佐藤直樹
第2位	同	2 曹	齋藤大貴
第3位	同	3 曹	熊谷洋亮
時間			(19分18秒)
【50才未満の部】			
第1位	本部管理中隊	2 曹	山田桃太郎
第2位	第2中隊	2 曹	東海林 真
第3位	第1中隊	2 曹	清水貴徳
時間			(17分16秒)
【50才以上の部】			
第1位	第3中隊	3 尉	小林一則
第2位	本部管理中隊	曹長	梅村昌和
第3位	重迫撃砲中隊	3 尉	大山雄二
時間			(21分05秒)
【総合の部】			
第1位	本部管理中隊	1 曹	山田桃太郎
第2位	同	3 曹	竹田大希
第3位	第1中隊	1 曹	佐藤直樹
時間			(17分16秒)



連隊長も参加



出走前の衛生教育

本記録会は、隊員の任務遂行に必要な基礎体力の強化を図ることを目的にAKA（安全・健全・安心）の実践及びJFK（事故・紛失・怪我なし）な実施要領に基づき、企画統制部（通信・安全班・救護班等）と各中隊が認識を統一し、安全かつ円滑な運営のもと開催された。最高気温が35度となる猛暑日の中、隊員たちは暑さに負けじと気迫溢れる走りを見せ、歯を食いしばりながら全員が最後まで諦めず、も日頃の錬成の成果を発揮し、5kmコースを駆け抜けた。競技中、中隊応援者からの気持ちのこもった声援・拍手等を力に変え、一致団結して勝利を目指す姿が特に印象的であった。競技参加者、応援者そして各勤務員等、全隊員がそれぞれの任務を全うし、一件の事故もなく無事に競技会を終えることが出来た。



大人気！陸上自衛隊車両ツアー

第14回天童高原634の松交流イベント

「部外イベント及びPCO広報展」を支援

県内各地でイベント支援



大絵馬型山車引きに参加する隊員（鶴岡天神祭）



隊員と記念撮影（東根さくらんぼマラソン）



高機動車を見学（防災×マルシェ2025）

5月25日（日）から6月22日（日）までの間、県内各地で実施されたイベント及び自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展にそれぞれ車両展示により支援（別表）した。いずれも多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せた。支援した隊員たちは、記念撮影の依頼に快く応じたり、寄せられた質問に対し澁刺と受け答えを行うなど、来場者との交流により、自衛隊の活動に対する理解の促進と魅力の発信を図ることができた。

実施日	イベント名	支援人員	支援内容
5月25日(日)	鶴岡天神祭	重迫撃砲中隊7名	高機動車・オートバイ展示 大絵馬型山車引き
6月1日(日)	東根さくらんぼマラソン	第4中隊2名	高機動車 展示
6月8日(日)	十日町いろは市	第2中隊2名	高機動車 展示
6月22日(日)	防災×マルシェ2025	重迫撃砲中隊2名	軽装甲機動車 展示

5月24日（土）、天童高原キャンパスの特設会場において天童高原634の松交流イベント実行委員会が主催する「第14回天童高原634の松交流イベント」に支援、本部管理中隊から7名が参加し、体験搭乗及び装備品展示（オートバイ）を実施した。イベント当日は、「陸上自衛隊車両ツアー（体験搭乗）」を実施し、「ぜひ自衛隊の車両に乗ってみたい！」という来場者の方々が、高機動車の乗り心地を体験し、笑顔で楽しんでいました。また体験搭乗の待ち時間には、装備品について説明したり、一緒に記念撮影をするなど自衛隊ブースは賑わいを見せていました。イベント後には、「楽しかった。自衛隊さんありがとう。」など喜びの声をかけていただき、支援した隊員たちの方が来場者の皆様から活力を頂いていた。

連隊は、本イベント支援を通じ、地域住民等の自衛隊に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることが出来た。

「総合的な学習の時間における職場体験」に支援

月日(曜)	学校名・人員数	実施項目	担当中隊
5月15日(木)	山辺中×7名、山形7中×7名、中山中×5名	○体験搭乗 ○装備品体験	第4中隊
5月19日(月)	城北高校3年生 約70名	○体験搭乗 ○体力検定 ○歩測	本部管理中隊 第1中隊 重迫撃砲中隊
5月20日(火)	天童3中 3名	○体験搭乗 ○装備品体験	第1中隊
5月22日(木)	大富中×5名 東根中×3名 8名	○体験搭乗 ○装備品体験	重迫撃砲中隊
5月26日(月)	城北高校3年生 70名	○目標の発見・識別 ○心肺蘇生法	本部管理中隊 第2中隊
6月19日(木)	創学館高校×14名 神室産業高校×1名 上山高等養護学校×1名	○体験搭乗 ○格闘	第2中隊



護身術を体験



目標の発見・識別法を教える隊員



心肺蘇生法を体験



軽装甲機動車を説明する隊員

5月15日(木)から6月19日(木)、神町駐屯地において自衛隊山形地方協力本部が実施する「総合的な学習の時間における職場体験」を支援した。

職場体験には各中・高校生(別表)が参加し、連隊は装備品展示・体験搭乗(高機動車)、各課目(目標の発見識別訓練・格闘訓練・心肺蘇生法及び体力検定)を実施した。

当初は緊張した様子だった生徒たちも、課目を担当した隊員とも打ち解け、楽しみながら課目に取り組み、元氣発刺と大声を出し取り組んでいた。



記念撮影

20連隊看板及び石碑移転完了!

斎藤3曹

得意作業 掘削及び段取り
苦手な作業 手作業
当時の担当作業 掘削機オペ

この看板は、20連隊が創設された際、当時の看板を掘削機で掘削し、新しい看板を設置した。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。

原田2曹

得意作業 クレーン作業
苦手な作業 機材整備
当時の担当作業 現場監督

この看板は、20連隊が創設された際、当時の看板を掘削機で掘削し、新しい看板を設置した。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。



記念撮影

連隊は第6施設大隊の支援を受け、施設作業小隊を中心に、安全かつ円滑な作業を実施し、5月15日(木)に20連隊看板を、5月22日(木)に連隊石碑を無事に移設しました。

今田3曹

得意作業 重材運搬
苦手な作業 掘削機作業
当時の担当作業 測量

この看板は、20連隊が創設された際、当時の看板を掘削機で掘削し、新しい看板を設置した。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。

五十嵐3曹

得意な作業 コンクリート掘削
苦手な作業 敷設
当時の担当作業 ショベル操作

この看板は、20連隊が創設された際、当時の看板を掘削機で掘削し、新しい看板を設置した。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。掘削機は、掘削作業に欠かせない重要な道具である。

連隊看板について

連隊大表札は平成8年2月に行われた「連隊創立40周年記念行事」の際に建てられました。作成は当時の第1中隊長、中木氏と施設作業小隊長、中心となり作成しました。作成当初は枕木の部分が木造であったため、長い年月を経たため、強度が低下していました。このため、コンクリートに強化されました。その後、第4中隊長の齋藤氏が作業隊長となり、大表札の補修と屋根の作成を実施しました。

石碑について

20連隊歌が刻まれているこの石碑は昭和61年1月に行われた「連隊創立30周年記念行事」の際に、真室川町の黒坂氏より第16連隊長、田中氏へ寄贈されたものです。この石碑は黒坂氏が真室川の河川敷に建てたもので、刻印されている文字については、将棋の駒の揮毫(きご)の森氏によって作成されました。

6月19日(木)、B庁舎前において20連隊板及び石碑落成式が実施され、式には連隊長、副連隊長、最先任上級曹長、各科長、各中隊長、各中隊長先任及び施設作業小隊が参加し、第20普通科連隊の更なる飛躍を祈念しました。

射撃の心得

射撃が上達する簡単なコツ

- 1 的の前に立ちましよう。
- 2 姿勢をとる際は拍動を抑えるため、ポーンサポートを意識しましょう。
- 3 いつも同じ狙いをしましょう。
- 4 呼吸を一定にし、同じ呼吸のタイミングで撃発をしましょう。
- 5 自分がどこに撃ったか確認しましょう。

さあ? どうだ? 今までの自分を超越していないか?

連隊の皆さんいつも狙撃にご配慮いただきありがとうございます。この依頼をいただくにあたり、真面目に書こうか、それとも面白く書こうか悩みましたが、真面目に書こうと思います。

射撃術を体得するまでには、いくつかの段階があります。自衛隊での新隊員教育、陸曹教育隊では射撃術を教えるだけでなく、また、狙撃の教育ですら細部まで理解することは難しいでしょう。そのくらい射撃術は深いものです。詳しく聞きたい方は第2中隊狙撃班長に確認してください。

射撃の心得

射撃が上達する簡単なコツ

- 1 的の前に立ちましよう。
- 2 姿勢をとる際は拍動を抑えるため、ポーンサポートを意識しましょう。
- 3 いつも同じ狙いをしましょう。
- 4 呼吸を一定にし、同じ呼吸のタイミングで撃発をしましょう。
- 5 自分がどこに撃ったか確認しましょう。

さあ? どうだ? 今までの自分を超越していないか?

連隊の皆さんいつも狙撃にご配慮いただきありがとうございます。この依頼をいただくにあたり、真面目に書こうか、それとも面白く書こうか悩みましたが、真面目に書こうと思います。

射撃術を体得するまでには、いくつかの段階があります。自衛隊での新隊員教育、陸曹教育隊では射撃術を教えるだけでなく、また、狙撃の教育ですら細部まで理解することは難しいでしょう。そのくらい射撃術は深いものです。詳しく聞きたい方は第2中隊狙撃班長に確認してください。



本部管理中隊 海藤曹長

出身 山形県鶴岡市
趣味 スキー鑑賞 ラーメン
好きな食べ物 気になった曲なら何でも
好きな曲 狙撃術
得意武器 射撃が苦手な隊員に一言
射撃術は必ず伸びます。

連隊カリスマ隊員 射撃のスペシャリスト

今月は射撃のスペシャリスト本部管理中隊海藤曹長を紹介。普段から優しさ溢れる海藤曹長も射撃となれば...

7月 行事予定

21日 (月・祝)
・全国カブト虫相撲大会 (中山町)

8月

1日 (日)
・神町納涼祭 (官舎地区)

5日 (火) 6日 (水)
・山形花笠まつり (山形市)

当時を振り返る

30年前を振り返り、営内生活でダブルベットの営内班から陸曹になり、シングルベットの部屋に移動した事が陸曹になったと実感したのを覚えています。そして現在、増えたのが脂肪と白髪と苦勞で嬉しい増加はしわの数だけ笑いと絆が増えたと思えます。皆さん30年後笑える人生となる様に願っています。

年男

三等陸曹

年男というこ... 後には、見様... 見まねの行動が多かった様な気がします。こんな私ですが、三等陸曹になり、もうすぐ一年です。

これからは、自分の立場を理解し、柔軟な思考力をもって事に接し、何事も積極果敢に挑戦して、思いやりと笑顔忘れずに頑張っていくと思います。

「うわぁぁぁ秋葉准尉いとおどごだなぁぁぁプライベートも忙しかつたんだべな...」とつぶやいてました。

※編集室周辺での会話

昔の私

重迫撃砲中隊 秋葉准尉

隊員プロフィール

出身 天童市

昔の趣味 スキー (ジュニア育成)

現在の趣味 スキー (ジュニア育成)

若年隊員に向けて一言

▶ 目標に向かって進んでもらいたい!